

# 正しい手洗いと消毒を忘れずに!

手をかざすと自動で吐出するハンドソープ

## 手洗い石鹼



自動石けん  
オートフォーム



アメニティ薬用  
ハンドソープパウチ



ハンドソープ  
希釈ボトル

消費コスト削減! 約5分の1



一般的な業務用石鹼  
原液使用タイプ



アメニティ薬用ハンドソープ  
500gパウチ10倍希釀

在庫スペース削減! 約7分の1



一斗缶入り原液タイプ



アメニティ薬用ハンドソープ  
ティッシュ箱ほど大きさのケースで  
最大20Lの希釈液が作れます。



## 用途で選べる3種類 アメニティのウイルス対策

### 手指・拭きあげ オールマイティに使える



サラヤンジェル  
◎アルコール濃度70vol%  
◎厚生労働省指定医薬部外品  
◎手指消毒用アルコールジェル  
◎中国製(サラヤ中国工場)



アメニティアルコール製剤 65スプレー  
◎エタノール濃度65vol%  
◎食品添加物アルコール  
◎日本製です。

### 拭きあげに



トリガーディスペンサーは  
共通で使えます。



V-ZEROスプレー  
◎色々なウイルスや菌を強力に除去します。  
◎安全性試験(急性経口毒性、皮膚刺激性、眼刺激性)を  
クリア(区分外)しています。  
◎日本製です。

詳しくは担当のトイレ診断士までお問い合わせください

### トイレ 歳時記 5月

5月5日は熱中症対策の日。おしつこの色で脱水症チェックができるます。おしつこの色が濃い黄色や茶色の場合はすぐに250ml以上の水分を補給しましょう。屋外や発汗しているときはそれ以上の水分補給が必要です。トイレで自己チェックして熱中症を予防しましょう。

### 編集 後記

今回は手前味噌になってしまいましたが、アメニティ本部についてご紹介しました。私は普段自宅勤務ですが、久しぶりに社内をくまなく巡りながら写真撮影、社員にインタビューで楽しいひとときとなりました。また、自分たちの仕事について改めて考える機会となり、お客様あってのアメニティネットワークだなど感じていたところです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

### あなたの町のアメニティネットワーク

アメニティ本部フリーダイヤル **0120-57-1110**

トイレを楽しくする新聞  
**かわや版**  
KAWAYABAN  
2021初夏号 Vol.90

特集 予防型メンテナンスを陰でサポート

## アメニティ本部に潜入!

平成元年の創設以来、  
全国でトイレの予防型メンテナンスを展開する  
私たちアメニティネットワーク。  
そのフランチャイズ本部が神奈川県横浜市にある  
株式会社アメニティです。  
今回は、普段は皆様の目に触れる事のない  
アメニティ本部のお仕事をご紹介させていただきます!

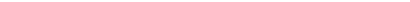


### アメニティ本部はこんなところ

横浜駅からバスで約20分、皆様が想像するであろう大都市横浜とはちょっと違う、のどかな風景が広がる中に、3階建てのアメニティ本部社屋があります。現在こちらで約40名のスタッフが働いています。

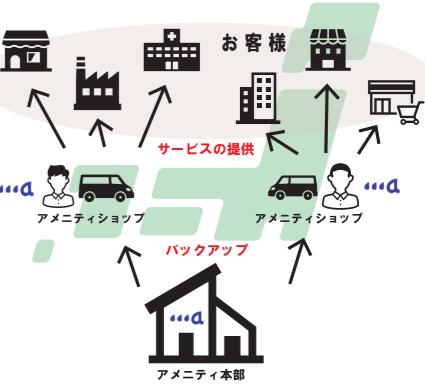


①②③④  
トイレ診断士廁堂本舗と  
その内部



### アメニティ本部の仕事って?

アメニティネットワークのフランチャイズ本部の仕事は、一言で言えば、皆様のトイレをメンテナンスしている全国のアメニティショップをサポートすることです。その内容は、商品やサービスの開発、教育研修、新規ショップの開発、商品資材の供給、営業支援など多岐にわたります。全国で均一かつ高品質なトイレサービスをお届けできるように、日々業務にあたっています。



## 代表挨拶

株式会社アメニティ 代表 山戸 伸孝

かわや版をご覧の皆様、いつもご愛読いただきありがとうございます。

「トイレを見れば文化レベルがわかる」とも言われるほど、トイレはその国、会社、店舗を現すまさに顔とも言える場所です。現代において衛生的で快適なトイレを使えるということは決して当たり前のことではありません。上下水のインフラ、トイ

レメーカー、利用者、さまざまな立場の先人たちの努力で培ってきたものです。毎日利用して汚れるのが宿命のトイレ、努力なしには清潔さは保てません。私どもは快適なトイレ空間を創る専門家集団として、お客様、そしてトイレと誠実に向かい、情熱と信念をもって快適トイレの創造に全力で邁進していきます。



## 営業支援

全国のアメニティショップの最前線で営業支援を行っています。ショップのスタッフと一緒にお客様を訪問して、トイレ診断やご提案をしています。また全国展開されているお客様では、アメニティ本部が調整役になり、全国各地のアメニティショップが一丸となってお客様のトイレをサポートしています。



営業推進部では、サービスガイド、キャンペーンチラシはじめトイレをご利用される方や、管理される方の立場に立ってオリジナルのPOPなども作成しています。



### 営業推進部

Bネーム: 御手洗 粗相(おてあらい そう)

最近は九州・四国方面のショップのスタッフと一緒にお客様を訪問させていただいていて、本部にいるよりもショップにいる方が長いくらいです。トイレ診断やメンテナンスなどを現場で一緒に感じてもらえばと思っています。



**営業推進部**  
Bネーム: 杉乃葉 巴子(すぎのは ともこ)  
入社してまもないころに「商品やサービスについてわかりやすいパンフレットが欲しい」と思い、前職での経験を生かしてサービスガイドを作りました。それをきっかけに今では印刷物のデザインを担当するようになりました。私の作ったツールがショップスタッフとお客様のコミュニケーションの一助になれば…と思っています。

## 教育研修

アメニティ本部では、トイレ管理者やトイレ診断士など、技術とサービスレベルの向上のための様々な研修を実施しています。研修室には実物の便器が設置しており、設備機器の取り付けや配管洗浄などの実習をすることができます。最近ではビデオ会議サービスを利用した遠隔研修も行っています。



### 社長室

Bネーム: 烏砂 塗史(おすな まぶし)  
トイレをきれいにする知識はもちろんですが、お客様が何のためにトイレをきれいにしたいのか、その目的を達成するためのトイレ診断であり、メンテナンスであるということを意識して伝えるようしています。研修を受けたスタッフが全国で活躍するを見る時はうれしいですね。



## 商品出荷

製造メーカーから配送されてきた商品は1階の倉庫に保管され、ここから全国のアメニティショップへ出荷されます。また、商品のロット管理や、商品の最終チェックを行ったりもしています。



**業務部**  
Bネーム: 葉ばかり 昇二(はばかり しょうじ)

倉庫ひとすじ20年になります。商品の破損や発送間違えないように日々業務を行っています。また、倉庫内の事故や荷崩れなどは商品の破損や欠品につながりお客様に迷惑をおかけしてしまいます。そのため、自動倉庫、フォークリフト、危険な薬剤の取り扱いなど、安全管理にも特に気を使っています。

## 商品開発

お客様のトイレのお困りごとや全国のアメニティショップからの「こんな商品があったら…」という開発のヒントを受けて、自社開発、共同開発、OEMと、様々な形で商品をお客様のトイレに送り出していました。しかし、開発するのは形の見える商品だけではありません。リピートメンテナンスやトイレ診断といった“トイレを快適にする仕組み”が私たちの商品です。こういった仕組みもお客様にご協力いただきながら、ショップと本部が協同して作り上げてきたものです。



### 廁道

アメニティが掲げる新4K

**廁道はもてなしの心(教育)**  
**無臭は金、微香は銀(経済)**  
**トイレは健康の姿見(健康)**  
**目標は癒しの環境創造(環境)**

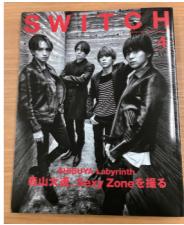


近隣の小学校でトイレ授業



# トイレ診断士が雑誌SWICHに取り上げられました

2021年3月20日発売の雑誌『SWICH』Vol.39 No.4では、東京渋谷の公衆トイレプロジェクト『THE TOKYO TOILET』が取り上げられています。その中で“科学的な見地からトイレの清掃をサポートする第三者機関”としてトイレ診断士もインタビューを受けました。この表紙の撮影の舞台も恵比寿公園にある公衆トイレ。公衆トイレがこんなにおしゃれな雑誌の表紙を飾るとは驚きました。ぜひご覧ください。



STAFF VOICE  
第三者機関として、科学的な見地から、トイレの清掃をサポートしています。  
診断士 長谷川アメニティ



## Q トイレ診断士達のブログ!! 特選集

日々トイレで戦うトイレ診断士たちの日常を、時にははじめて、時にはおかしく綴った「トイレ診断士達のブログ」。特に人気の高い記事をかわや版でもお届けします。

<http://www.toireshindan.com>



セルベッヂオ中嶋  
2021年3月28日掲載

### 災害用トイレ使ってみました!

皆さんこんにちは。セルベッヂオ中嶋です。最近大きな地震が多くて心配になりますよね。

「そういえば災害用トイレ一度も使ったことがないな…。実際に使えるのかな…。」ということで、実際に使ってみることにしました!



使用したのは総合サービスさんの災害用トイレ「サニタクリーン」15枚セット。A4のファイルサイズでコンパクトに収納できます。

袋を広げてみると意外と大きいです。使い方の説明は袋に印刷してあります。災害時にすぐに使い方がわかるっていうのは意外と重要なんじゃないかな?と思いました。



そして、いざ実践!  
すみません、“大”はちょっと勇気がなくて、“小”です。写真は割愛します(笑)

感想は、拍子抜けするくらい、普通に大使器で用を足しているのと同じ感じです。強いて言うなら間違えて流すボタンを押さないように気を付けるくらいです。‘大’の場合だったら、においはあると思います。(この後の処理方法は後述します。)

ここで気になったのが、「この吸収シートは何ccくらい尿を吸い取ってくれるんだろう?」ということ。それも早速実験です!



水を100ccずつ注ぎ込みます。入れても入れても吸収シートから全然しみ出して来ない!なんと1300ccくらいまで吸収してくれました!

メーカーの方に確認したところ、水なら1ℓ、尿なら800ccくらいまで吸収することができるということでした。

尿の量は1回約250~300ccと言われているので、“小”だったら3回分くらい吸ってくれますね。避難所で使用するなら1回で使い捨てたいですが、家で使用するなら“小”なら数回使ってから捨ててもいいかなあと思っています。貧乏性(笑)

さて、使用後は本体の袋の上部にある切り取り線から上の部分をミシン目で切り取ると、そこが紐状になり、縛ることができます。これもすごく良いアイディアですよね~。処理するときに「紐がない!」ってならないんですよ!(←力説)



使用後の袋は、私の住む自治体では通常は燃えるゴミに出せるということですが、災害時には回収方法が異なるかもしれないとのことでした。ご使用の際にはお住まいの自治体にご確認ください。